

滋賀県整形外科専門 研修プログラム -2024年度募集-



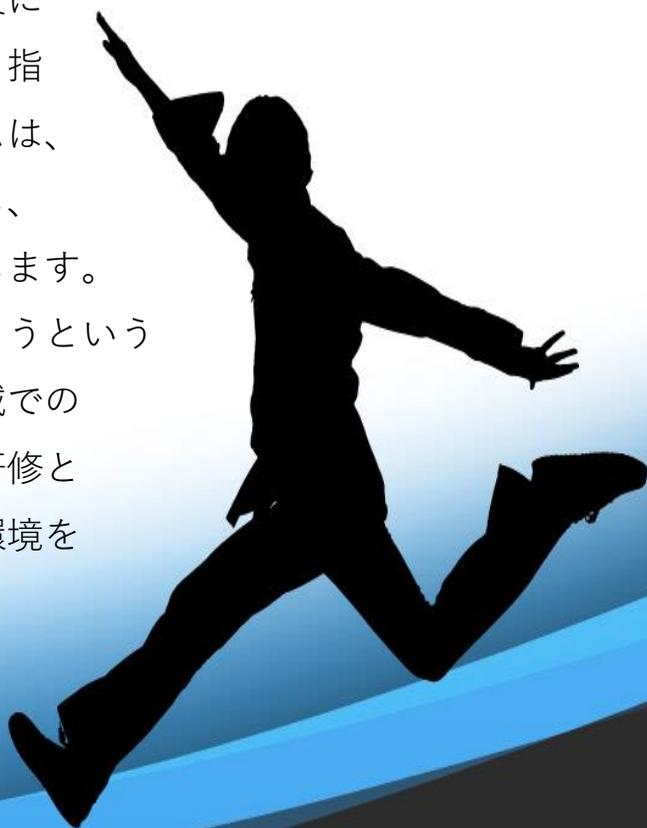
滋賀医大整形外科学講座



滋賀県整形外科専門研修プログラムの目標と特徴

滋賀県整形外科専門研修プログラムは到達目標を「総合的な運動器の診療を行える整形外科専門医および地域医療に貢献できる幅広い知識と視野をもった整形外科医師を目指す」とします。近江八幡市立総合医療センターは滋賀県においてはやや北部に位置し、近江八幡市及び周囲医療圏でセンターとしての役割を担っています。近江八幡市立総合医療センターでは救急医療、上・下肢外傷、関節再建、スポーツ整形外科、リハビリテーションを研修の主とし、それ以外の分野（脊椎、腫瘍、手外科、小児整形外科など）は滋賀県内の8か所の連携施設と協力し、プライマリケアから地域医療、最先端の臨床・研究までを偏りなく学ぶことができます。

多くの手術症例を経験・執刀し、研修終了後に自立した外科医として診療ができることを目指します。滋賀県整形外科専門研修プログラムは、専攻医の皆様に素晴らしい研修環境を提供し、個々の能力を最大限に引き出す研修を目指します。また滋賀県地域枠として地域医療に貢献しようという志をもった専攻医の皆様にも、医師不足地域での地域医療研修義務と同時に多くの専門的な研修と研究の環境を提示できるプログラムとして環境を整えています。



研修プログラム統括責任者 あいさつ

平成30年度から始まった整形外科新臨床研修プログラムも順調に経過し、令和4年度初めて2人研修終了され認定国家試験も合格、現在県内病院で整形外科専門医として活躍されております。

近江八幡市立総合医療センターは滋賀県で初めて大学病院以外で認可された整形外科専門医研修プログラムの基幹施設です。私は、滋賀県で生まれ、滋賀県の彦根東高校を卒業しました。医学部期間は県外で過ごし、医師免許取得と同時に、滋賀県で整形外科を実践したくて、滋賀県に戻りました。そんな私ですから、滋賀県での整形外科臨床研修の実情を熟知しています。

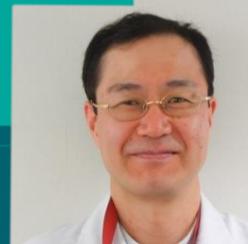
これまで滋賀県での整形外科臨床研修は、県内の大学病院と京都府の2つの大学病院に依存してきました。滋賀県出身者や滋賀県に何らかのゆかりある人が、滋賀県で整形外科を研修し、滋賀県に整形外科医として根ざしたいと思っても、研修期間中に他府県に所在する大学関連病院に赴任しなければならないケースがほとんどでした。

近江八幡市立総合医療センターは、「**滋賀県で整形外科を研修** し、そのまま**滋賀県で整形外科を実践** できる整形外科臨床研修プログラム」を提供します。このために、滋賀県内の11の前期研修指定病院と連携して、滋賀県で完結できる整形外科研修体制を提供します。

研修期間中にどの病院にどの期間赴任するのかについては、研修プログラム統括責任者が専攻医の希望を基にして「**滋賀臨床整形研修ネットワーク**」で各連携病院の指導医と相談します。無論、日本整形外科学会が定める単位を一定期間内に修得しなければならないので、全てを叶えられるわけではありませんが、例えば「湖南地区での研修期間を多くしてほしい」や「最終的に湖北地区の病院に勤務したい」など、できるだけ具体的な希望の方が、分かりやすく良いです。

研修期間中に、整形外科研修後に「**海外留学**したい」なら、研修後半を大学病院での研修に繋げたり、「**国内研修**したい」なら、その分野に強い連携病院での研修に繋げたりすることにより、「**滋賀県から出て、研修・研究を発展する**」ことにも対応します。滋賀県で整形外科を研修して実践したい貴方・貴女、迷う前には是非相談してください。

近江八幡市立総合医療センター
整形外科専門医プログラム統括責任者
森本 茂





滋賀県臨床整形研修ネットワーク

「滋賀臨床整形研修ネットワーク」とは

滋賀県での整形外科教育・研究の推進を図るための非営利組織で、滋賀県整形外科専門医プログラムの指導医からなり、3名の世話人と1名の代表世話人、1名の監事を置きます。主な活動は以下の2つになります。

1 学術講演会の開催

滋賀臨床整形研修ネットワークでは、滋賀県で完結できる整形外科研修に寄与する為に最先端の臨床・研究について広く全国から第一線の講師を招聘し、臨床研修の機会を提供します。また、講演会前の連絡協議会では研修連携病院での専攻医受入れ状況や専攻医の研修希望状況についての情報交換を行います。講演会後の懇親会を通じて、各施設の指導医・専攻医の情報交換・懇親を図ります。

2. 研修ネットワーク総会の開催

滋賀臨床整形研修ネットワークでは、該当年度の専攻希望者の応募状況、研修連携病院での専攻医受入れ状況を勘案して受入れ可否を判定します。また、現在研修進行中の専攻医の単位取得状況を確認し、次年度の研修先施設を協議します。

組織構成員

- | | | | |
|-----------|---|----------------|---------|
| (ア) 代表世話人 | 森本 茂 | 近江八幡市立総合医療センター | 整形外科 部長 |
| (イ) 世話人 | 板倉 慎 | 大津赤十字病院 | 整形外科 医長 |
| 世話人 | 尾田和広 | 市立長浜病院 | 整形外科 部長 |
| 世話人 | 久保充彦 | 滋賀医科大学 | 整形外科 講師 |
| (ウ) 幹事 | 西脇聖一 | 淡海医療センター | 整形外科 部長 |
| (エ) 会員 | 滋賀県内の8つの前期研修指定病院の整形外科指導医19名 | | |
| (オ) 事務連絡先 | 近江八幡市立総合医療センター
〒523-0082
滋賀県近江八幡市土田町1379
専用メールアドレス ocmc-seikei.pro@kenkou1.com | | |



研修期間

3年9か月



研修方法

整形外科専門研修プログラム整備基準及び付属資料
(日本整形外科学会 HP)

<http://www.joa.or.jp/jp/edu/index.html>



研修計画

専門研修は1ヶ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを1. 脊椎、2. 上肢・手、3. 下肢、4. 外傷、5. リウマチ、6. スポーツ、7. 小児、8. 腫瘍、9. リハビリテーション、10. 地域医療の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携病院をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位数以上を修得し、流動の5単位を含めて、3年9か月間で45単位を修得します。地域医療研修に関しては、本プログラムとは別の地域における整形外科診療や病院連携、病診連携を経験する事を目的に、人事交流がある連携病院で研修を行います。



研修施設ローテーション

- 専攻医A・・・（八幡～湖北コース）近江八幡市立総合医療センターを中心に
長浜赤十字病院と市立長浜病院と大学で研修を行うコースを想定
- 専攻医B・・・（八幡～東近江コース）近江八幡市立総合医療センターを中心に
公立甲賀病院と大学で研修を行うコースを想定
- 専攻医C・・・（八幡～南部コース）近江八幡市立総合医療センターを中心に
大津赤十字病院と淡海医療センターと滋賀県立総合病院と大学
で研修を行うコースを想定

★施設から見た専攻医のローテーション表（案の一例）

医療機関	1年目前半	1年目後半	2年目	3年目	4年目
近江八幡市立総合医療センター	専攻医A・C	専攻医A・B	専攻医A	専攻医B	専攻医B
大津赤十字病院			専攻医C		
公立甲賀病院			専攻医B		
淡海医療センター				専攻医C	
滋賀県立小児保健医療センター	研修を通じて2～3か月				
市立長浜病院					専攻医A
長浜赤十字病院				専攻医A (6ヶ月)	
滋賀県立総合病院					専攻医C
滋賀医科大学医学部 附属病院	専攻医B	専攻医C		専攻医A (6ヶ月)	

注) 滋賀県立小児保健医療センターは、研修期間中のいずれかの時期に2～3か月程度の研修・見学等を予定。
注) 滋賀医大附属病院での研修は6か月の予定



スケジュール

★専攻医からみた研修スケジュールと専攻医別取得単位（案の一例）

専攻医A（八幡～湖北コース）：

- 一年目前半・・・ 分野4を3単位、分野8を1単位、分野9を2単位。
- 一年目後半・・・ 分野1を3単位、分野2を3単位。
- 二年目・・・ 分野2を3単位、分野8を1単位、分野10を3単位、流動を5単位。
- 三年目・・・ 分野1を3単位、分野3を3単位、分野4を3単位、分野7を2単位、
分野8を1単位。
- 四年目・・・ 分野3を3単位、分野5を3単位、分野6を3単位
計45単位。

専攻医B（八幡～東近江コース）：

- 一年目前半・・・ 分野1を1単位、分野7を2単位、分野8を2単位、流動を1単位。
- 一年目後半・・・ 分野3を3単位、分野5を3単位。
- 二年目・・・ 分野2を3単位、分野3を3単位、分野4を3単位、流動を3単位。
- 三年目・・・ 分野2を3単位、分野4を3単位、分野6を3単位、分野9を2単位、
流動を1単位。
- 四年目・・・ 分野1を5単位、分野9を1単位、分野10を3単位
計45単位。

専攻医C（八幡～滋賀県南部コース）：

- 一年目前半・・・ 分野2を3単位、分野9を3単位。
- 一年目後半・・・ 分野7を2単位、分野8を2単位、流動を2単位。
- 二年目・・・ 分野1を3単位、分野3を3単位、分野4を3単位、流動を3単位。
- 三年目・・・ 分野1を3単位、分野4を3単位、分野6を3単位、分野10を3単位。
- 四年目・・・ 分野2を3単位、分野3を3単位、分野5を3単位
計45単位。

注) 1. 脊椎、2. 上肢・手、3. 下肢、4. 外傷、5. リウマチ、6. スポーツ、7. 小児、8. 腫瘍、
9. リハビリテーション、10. 地域医療

注) それぞれの必要単位・・・ 脊椎：6単位、上肢・手：6単位、下肢：6単位、外傷：6単位、
リウマチ：3単位、スポーツ：3単位、小児：2単位、腫瘍：2単位、
リハビリテーション：3単位、地域医療：3単位



専門研修施設と指導医

専門研修施設とその指導可能な研修領域（案）

医療機関	指導可能な研修領域										受入可能 人数
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
近江八幡市立総合医療センター	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
大津赤十字病院	●	●	●	●			●		●		6
公立甲賀病院		●	●	●	●	●	●		●	●	9
淡海医療センター	●		●	●	●				●	●	6
滋賀県立小児保健医療センター	●		●				●		●		0
市立長浜病院			●		●	●					3
長浜赤十字病院	●		●	●							6
滋賀県立総合病院	●		●						●		3
滋賀医科大学医学部附属病院	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	36
東近江医療センター		●	●	●		●	●				
JCHO滋賀病院		●	●			●	●				
湖東記念病院				●		●	●				

施設名	指導医名	指導分野1	指導分野2	指導分野3
近江八幡市立総合医療センター	森本 茂	2	6	8
近江八幡市立総合医療センター	笠原 俊幸	3	9	10
近江八幡市立総合医療センター	中村 陽	1	4	5
近江八幡市立総合医療センター	久我 研作	2	7	8
滋賀医科大学医学部附属病院	今井 晋二	2	7	9
滋賀医科大学医学部附属病院	川崎 拓	3	5	9
滋賀医科大学医学部附属病院	森 幹士	1	4	5
滋賀医科大学医学部附属病院	児玉 成人	2	4	8
滋賀医科大学医学部附属病院	久保 充彦	3	6	10
滋賀医科大学医学部附属病院	彌山 峰史	1	4	5
滋賀医科大学医学部附属病院	三村 朋大	3	5	10

滋賀医科大学医学部附属病院	安藤 厚生	2	8	9
滋賀医科大学医学部附属病院	熊谷 康佑	3	5	9
滋賀医科大学医学部附属病院	竹村 宜記	2	4	8
滋賀医科大学医学部附属病院	米田 真悟	2	6	9
滋賀医科大学医学部附属病院	古屋 佑樹	3	4	9
大津赤十字病院	青木 弥寿弘	1	3	4
大津赤十字病院	板倉 慎	2	5	9
公立甲賀病院	上中 一泰	6	7	10
公立甲賀病院	嶋 靖子	3	4	9
公立甲賀病院	伊藤 隆司	2	3	5
淡海医療センター	西脇 聖一	3	4	10
淡海医療センター	西澤 和也	1	4	9
市立長浜病院	尾田 和広	3	5	6
長浜赤十字病院	永原 亮一	1	3	4
長浜赤十字病院	長嶋 秀明	3	4	9
滋賀県立総合病院	前田 勉	3	4	6
滋賀県立小児保健医療センター	二見 徹	1	3	7
滋賀県立小児保健医療センター	尾木 祐子	7	9	
東近江医療センター				
JOHO滋賀病院				
湖東記念病院				

注) 1. 脊椎、2. 上肢・手、3. 下肢、4. 外傷、5. リウマチ、6. スポーツ、7. 小児、8. 腫瘍、9. リハビリテーション、10. 地域医療



週間予定

	月	火	水	木	金	土
A.M.	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来・手術	救急外来 (当番制)
P.M.	手術	手術	手術	手術	手術	
	抄読会 (隔週)			術前・術後 カンファ 症例検討会	関節カンファ	

専攻医は、基幹病院研修期間において、「外傷」・「関節」・「リハビリ」・「救急」の各専門診グループをローテーションし、外来・手術を指示の元に担当する。

月に一回、症例発表のクリニカルカンファランスを行う。

・抄読会

持ち回りで抄読を行います。自分自身の興味がある有益な最新の論文2編をプレゼンします。各疾患の最近のトピックスについて縦断的に勉強することができます。

・全体カンファレンス

1週間の手術症例の詳細なプレゼンテーションに引き続き手術適応・手術療法について討議します。手術予定の各症例が全て検討され、まとめて学習できる非常によい機会です。

・術後カンファレンス

手術日の夕方に手術症例のブリーフィングに引き続き、手術内容について報告し、問題点や重症例があればその内容について討議します。

・関節カンファ

隔週金曜日夕方に関節疾患の手術適応・手術療法についてカンファレンスを行っています。少し専門的ですが、より掘り下げた勉強が可能です。



募集人数

専攻医受入数 各年次 3名 合計12名



応募方法・見学申込

応募に必要な以下の書類を郵送またはメールで下記に送って下さい。
選考は面接で行います。尚、申請書は下記メールアドレスに送付先を
明記の上、請求して下さい。こちらから郵送します。

必要書類： 申請書、履歴書、
医師免許証（コピー）、医師臨床研修修了登録証（コピー）

【問い合わせ先】 〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379番地
近江八幡市立総合医療センター整形外科
Tel: 0748-33-3151 Fax: 0748-33-4877
担当：森本 茂（専門研修プログラム統括責任者）
[E-mail:ocmc-seikei.pro@kenkou1.com](mailto:ocmc-seikei.pro@kenkou1.com)
（滋賀県整形外科専門研修プログラム）



本プログラムの専攻医

堀川 禎文先生 2019年度～ 専攻医取得

- 1年目：大津赤十字病院
- 2年目：公立甲賀病院
- 3年目：淡海医療センター
滋賀医科大学医学部附属病院
- 4年目：近江八幡医療センター
プログラム修了

蝶勢 友也先生 2019年度～ 専攻医取得

- 1年目：近江八幡総合医療センター
- 2年目：近江八幡総合医療センター
- 3年目：淡海医療センター
- 4年目：滋賀医科大学医学部附属病院
プログラム修了

青木 崇紘先生 2020年度～

- 1年目：滋賀医科大学医学部附属病院
- 2年目：滋賀医科大学医学部附属病院
滋賀県立総合病院
- 3年目：長浜赤十字病院
- 4年目：近江八幡市立総合医療センター

岩田 惇史先生 2021年度～

- 1年目：近江八幡市立総合医療センター
- 2年目：大津赤十字病院
- 3年目：JOHO滋賀病院

木内 亮平先生 2022年度～

- 1年目：滋賀県立総合病院
- 2年目：長浜赤十字病院

上村 亮太先生 2022年度～

- 1年目：淡海医療センター
- 2年目：滋賀医科大学医学部附属病院

江川 将史先生 2022年度～

- 1年目：滋賀医科大学医学部附属病院
- 2年目：滋賀県立総合病院



公共交通機関

JR琵琶湖線「近江八幡駅北口」下車より タクシー5分

自家用車等

名神竜王ICより10Km (15分)

近江八幡市立総合医療センター

〒523-0082

滋賀県近江八幡市土田町1379

Tel 0748-33-3151 Fax 0748-33-4877